

# エコアツプ緑化工法

NETIS登録

QS-050010-V

平成14年3月に「新・生物多様性国家戦略」が策定され「保全の強化」「持続可能な利用」に加え、「自然の再生」を重要な方向として挙げる中、平成15年1月に「自然再生推進法」が、平成16年6月には「外来生物法」が施行されたのは周知の通りです。近年、自然環境に対する社会的な関心の高まりと共に、法面保護工事においても、周辺環境へ配慮した技術が求められています。

日本特殊緑化協会では、これらの社会的要求に答えるべく、**真の自然再生工法：エコアツプ緑化工法**を開発しました。

エコアツプ緑化工法は、森林表土に含まれる埋土種子により植物導入を図る工法です。

植生復元を対象とする斜面周辺の森林から、A層を主体とする表土(埋土種子)を移設する事で、**地域系統の植物を最大限活用した自然再生を図る**事ができます。これにより、**移入種による自生種の駆逐や遺伝子の攪乱を防止**します。

表土採取に用いる専用機械：エコアツプレシーバー(土壌吸引システム)は、機械を林内に投入せず森林土壌を効率的に採取する事ができる為、林床破壊はありません。

北海道虻田町(有珠山噴火荒廃地の復旧) 施工前



施工7ヵ月後



土壌吸引システム(エコアツプレシーバー)

真空発生装置



レシーバータンク



森林表土



## 森林表土採取工程

森林表土採取前状況



森林表土採取前処理(枝葉除去、表土耕起)



森林表土吸引状況



森林表土吸引採取



森林表土(埋土種子)を活用した自然再生システム